

まえがき

約40年前のことになりますが、CDが急速に普及し、「アナログの時代が終わったか」という風が吹き荒れました。販売店において、レコード及び関連用品は片隅に追いやられ、CD関連製品が店頭で陳列される状況に至りました。当方はアナログ、特にカートリッジが大好きですから、少ない数ではありますが、店頭からなくなる前に収集し、防湿庫にて保管する事にしました。

それから数十年が経過し、当方も終活の年齢になりましたので収集品を写真撮影し、記録として保存したいと思うようになりました。(現在、残念ではありましたが、新品購入品の殆どを販売処分致しました。)

カートリッジの未収品が、現在でも販売されています。少しずつではありますが、取得して写真の補充をしています。

現在、新品レコードカートリッジ約90個、ヤフーオークションなどで入手した中古品約120個、総数が64社、約210個の写真整理をしました。

カートリッジの写真整理とは別にカートリッジの主性能などを纏めた資料も作成しました。1992年以前に製造販売された84社、約1,000個の世界のレトロ・カートリッジについて纏めてあります。1992年とした事に特別な理由はありませんが、大凡、カートリッジ熱の冷めた頃ではないかと思えます。多くのメーカーが競いあいながら、これ程までに多数のカートリッジを製造販売したのだと感慨深いものがあります。これも記録として整理しておきたいと思い纏めました。ご覧になって頂ければ幸いです。

この写真集とカートリッジの主性能のデータは、殆どが(株)ステレオサウンド社発行のステレオガイド(1975~1992年)のデータです。同社の収集・出版行為に深く感謝いたします。

これらの資料が少しでも皆様のお役に立てることがあれば、筆者として大変幸いに思います。

最後に、写真集などの作成にあたり、資金的、時間的な協力をしてくれた妻に感謝します。

2026年4月吉日

CART EITA